

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年10月29日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年10月29日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【5号機ホットラボ空冷冷却器(C)の自動停止について】 5号機ホットラボ空冷冷却器(C)が、コントローラ通信異常の警報発生に伴い、自動停止。 ケーブルと端子接続部の緩みや経年劣化が原因と推定。 今後、点検・修理予定。	GⅢ	10月24日
2	【個人線量計およびガラスバッジの一時不携帯について】 協力企業作業員が管理区域作業終了後、構内企業棟にてY装備から一般作業服へ着替えた際、構内企業棟に個人線量計およびガラスバッジを置き忘れ、不携帯のまま、入退域管理棟まで移動し、その後、汚染検査エリア退出時に不携帯に気づいた。 個人線量計値、退域時の身体サーベイにより汚染がないことを確認済み。 不携帯区間の被ばく線量評価を実施中。	GⅢ	10月23日
3	【6号機ページング装置の不具合について】 6号機のタービン建屋および廃棄物処理建屋においてページング装置を使用した拡声・通話ができないことを確認。 原因については、現在調査中。 ページング装置を6号機の単独使用から、5号機および6号機の共有使用に切り替えた場合は拡声・通話について使用可能なため、応急処置として、5号機および6号機のページング装置を共有状態にして使用中。 今後、点検・修理予定。 ※ページング装置とは、構内で通話や緊急放送を行う通信設備	GⅢ	10月26日